

施策	2201 公園緑地の維持・整備						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民全般						
施策が目指す姿	総合運動公園の改修をはじめ、既存の都市公園等の適正な維持管理や長寿命化に向けた取り組みを進める。また、つがの里については、魅力ある公園として再整備を進める。						
成果指標	一人当たり都市公園面積...5年間で12.6㎡(現状値12.0㎡)						
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標1 [m ²]	予定	12.12	12.24	12.36	12.48	12.60
		実績	12.15	12.27			
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	成果指標4 []	予定					
		実績					
	トータルコスト (千円)	予定	591,445	500,880	614,572	0	0
実績		588,999	500,880	614,572	0	0	
内部評価	貢献度	「居住環境の整備に対する市民満足度」を向上させるため、都市公園の整備・維持管理及び老朽化公園施設の改修が必要であり、本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。					
	達成状況	新規都市公園は未整備であるが、開発等で帰属された公園面積を含めると1人当たり14.39㎡であり目標を達成している。					
	課題	本市の公園については、供用開始より永年経過した公園が多く施設の老朽化が進んでいることから、計画的な維持修繕が重要である。					
	取組方針	老朽化した公園施設については、長寿命化計画に基づき計画的な維持修繕を行う。また、公園施設の調査点検を年2回実施することで、適切な公園の維持管理を図る。					
外部評価							
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名称				トータルコスト(千円)	達成度
	440101	都市公園等管理費				116,296	100
	440301	栃木総合運動公園管理運営委託費				178,125	100
	443101	栃木総合運動公園施設整備事業費				36,324	100
	443501	太平山県立自然公園施設整備事業費				12,863	100
	445401	生垣設置奨励補助金				804	100
	763801	国民体育大会関連施設整備事業費				72,092	100
	763901	都市公園等バリアフリー化改修事業費				6,297	100
	440503	藤岡渡良瀬運動公園管理費				11,092	1
	441001	栃木総合運動公園管理費				11,327	1
711706	岩舟総合運動公園管理費				1,842	1	

単位 施策評価表 補表

施策	2201 公園緑地の維持・整備		
区分	妥当性	妥当	上位施策の目標を達成するために有効である。
	コスト削減の余地	無	公園施設等の維持管理が主である為、コスト削減の実施は困難である。
	受益者負担	適正	使用料等の負担割合は適正である。
	上位貢献度	有効	基本施策の成果指標達成する貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	代替事業はない。
	成果向上の余地	有	今後適切な事業を行うことで、公園の適正な維持管理が見込まれる。
内部評価	貢献度	都市公園の整備・適正な維持管理及び老朽化施設の改修を進めることが、本単位施策の目標達成度向上になるため貢献度は高い。	
	達成状況	「都市公園などの利用者が減少している印象を受けることから、多様な機能の確保に努め、公園の利用促進を図っていくべき」とのご指摘について、少子高齢化・周辺環境の変化・ニーズの変化等が起因しているものと思われ、公園の設置目的が十分果たせなくなる都市公園が発生することも見込まれます。なお、人口減少の進捗の程度や都市公園の整備状況等は地域によって異なるため、都市公園の機能向上を図る必要がある地域、都市公園の確保を更に進める必要がある地域など、それぞれの地域の状況に応じた対応が必要な状況です。	
	課題	平成27年度末現在、供用開始後30年以上経過した公園が全体(298箇所)の2割に達しており、著しい劣化や損傷が多くみられるなど老朽化が進行している。今後、20年後には全体の7割に達するという状況のため、計画的な維持管理や効果的な長寿命化対策を必要とする。	
	取組方針	平成29年度に策定した公園施設長寿命化計画に沿った、計画的な維持修繕を推進する。また、公園施設の調査点検を年2回確実に実施する。	